

「事業名：福島浜通り地域社会フィールド実証学際拠点の構築」

東北大学(共同申請：東北学院大学) 連携市町村：南相馬市、浪江町、葛尾村

現地拠点：南相馬市原町区萱浜新赤沼83 福島ロボットテストフィールド(研究棟2階研究室12)

双葉郡葛尾村大字落合字菅ノ又14-2 葛尾村立葛尾中学校(1階)

事業のポイント

福島浜通り国際教育研究拠点構想に呼応した東北大学としての現地拠点の確立に向けて、NICHe、農学研究科、TCPAIがこれまで取り組んできた実績をさらに連携させ、分野間の連携融合による大学シーズの地域社会実装により、課題解決と新たな地域産業の具現化を行える学際的人材のOJT、PBLによる育成基盤構築に取り組む。

人材育成目標

- ・ ロボット分野： ロボット・AI研究開発の実用的基盤技術を習得し、各種応用開発によりイノベーションを牽引できる人材
- ・ 農学分野： 地域の環境や風土、文化等を理解し、IT等の技術を活用して農業・農村の復興を先導する人材
- ・ 社会実装分野： 複数分野の技術・知見を習得し、それらを活用して具体的な課題解決に取り組み、復興を先導できる人材

2021年度の活動内容

- ・ 各市町村における各分野の取組およびその統合連携化を通じた教育・人材育成基盤構築の着手
南相馬市：次世代モビリティ導入普及とそれに関する地域産業創出・振興の検討、持続的・地域交通導入実装に向けた検討、ロボット分野に関連した地域産業創出振興と人材育成、高収益作物の生産団地化推進に対する支援、耕畜連携等による土づくりへの知見提供
- 葛尾村：ブランド作物の選定と実証栽培の検討、野生動物に対する忌避効果の高い作物の検討、IT等先端技術を取り入れた作物栽培の実証試験とそれを活用した教育プログラムの検討と試行
- 浪江町：エネルギー×モビリティ×コミュニティまちづくりモデルの推進、農工連携によるエネルギー自給型農場の実現や土づくり支援等解決策の町・営農者・大学三者による継続的検討

取り組みによって得られる成果

- ・ 各分野での課題解決に加え、分野融合連携による更なる課題解決を通じ、持続的に地域の具体的な課題の解決が行えると共に、フィールド実証を通じた実践的学際的人材の育成がなされる。
- ・ こうした取組、人材育成により他の取組についても分野融合連携を推進する人材の輩出が行われ、その成果は福島浜通り地域のみでなく、国内外に展開しうるモデルとなる。

